

岡崎市障がい者自立支援協議会での意見への対応方針

中岡崎駅について

意見	● エレベーター設置は実現していただきたいです。障がいを持った当事者の方の外出支援時に大変苦勞したことがあります。 ● エレベーターは見慣れているサイズものだけでなく、奥行き（又は幅）180 cm～200 cmあるものがあります。また、緊急時にも対応できるような危機感を持った仕様になるようお願いします。 ● 曲がって入る動線が多く見られます。よりスペースを必要とするのも一考が必要です。 ● 駅員とのやりとりにて、音声のやりとりが難しい方の為に、筆談対応が可能である事を示すために、「耳マーク」若しくは「筆談マーク」を窓口に貼り付けてほしい。 ● ホームドアがない。 ● 音声及び電光掲示版による案内をしてほしい。 ● ピクトグラムを導入してほしい（トイレ、改札口等）。 ● 広い改札口（車イス対応）を設けてほしい。 ● 意見箱を設置してほしい。 ● このような施策は、多額のお金をかけて取り組めば、どんどん良くなります。一方、利用者3000人/日といえど、岡崎駅や刈谷駅などとは2桁違いの少なさです。費用対効果を考え、必要最低限の内容にすべきと考えます。 ● 岡崎城公園の最寄り駅として歴史を感じる風情があるとよいと思う。
対応	➤ 設置するエレベーターのかごの大きさやバリアフリースイールの仕様等については、バリアフリー整備ガイドラインに沿って、利用者数並びに設計上及び維持管理上の課題等を考慮し整備を実施します。なお、様々なサイズのエレベーターがあることの周知の意味も込めて、基本構想の中で、エレベーターのかごの大きさを例に、バリアフリー整備ガイドラインの内容を記載します。 ➤ 中岡崎駅においては、筆談マークを掲出し、要望があれば筆談で対応を行っております。 ➤ 本地区は景観形成重点地区に指定されているため、駅舎のデザインについては、景観協議を行った上で決定されます。 ➤ その他整備を行う際の参考にさせていただきます。

中岡崎駅前広場・駅前広場駐車場について

意見	● 車道と歩道の段差を極力少なく、車いす、足の不自由な人が横断しやすくしてほしい。 ● ちょっとした段差や坂が、体の不自由な人にとっては不安に感じるため、整備され、通りがよくなることを期待しています。 ● 駅から広場及びバス停までの点字ブロックを設置してほしい。 ● バス停について、運行情報を文面でアナウンスできる様にしてほしい。 ● バス停について、QR コードで運行状況がわかるようになっていますが、そのことをもっとわかりやすく表示するといいいです。また、夏は暑いため、ミストをつけてみてはどうか。 ● 災害時、消防車及び救急車の駐車場所の確保をしてほしい。 ● 駅前広場は袋小路でもあり、小スペースの駐車場より広さを生かした活用が出来れば有効になるのかと想像しますが、商業的になるのか疑問が残ります。近隣に駐車場は少ないですが、河川敷の駐車場とのつながりにも気を配ることが出来たらよいのかと考えます。 ● 雨のかからないスペースでちょっとしたイベントができると多目的に利用できると思う。
対応	➤ バリアフリー整備ガイドラインに沿って、段差の解消、視覚障がい者用誘導ブロックの敷設、及びバス待合所の配置見直し等を検討します。 ➤ その他整備を行う際の参考にさせていただきます。

中岡崎駅西口・西口公衆用便所について

意見	● 西口については乗降のみの為のスペースとなるのでしょうか？ ● 多目的トイレの案内表示を設置してほしい。 ● トイレで何かあった時の為に、お知らせランプ等を入れる事で、視覚的情報も入手できる様にしてほしい。（音声情報もちろん必要です。） ● ピクトグラム、音声案内、電光掲示板の設置をしてほしい。 ● 公衆用便所については、使いたくなる建物としてリニューアルすることを薦めます。注目されるトイレにして一つの目玉にしてはいかがでしょうか。 ● 屋外の公衆トイレのため、どこまで可能かわかりませんが、寒暖差に弱い方も多いので、冬場に寒くない作りになると良いと思います。 ● 障がい者、高齢者のみならず、子ども、親子、外国人にも利用しやすいこと、高速のサービスエリアのように、どこが使用中か分かる仕様などがあると良い。
対応	➤ 西口は東口と異なり、駅前広場ではないため、駅の出入口という位置づけになります。 ➤ その他整備を行う際の参考にさせていただきます。

市道中岡崎駅 10 号線について

意見	● 車道と歩道の段差を極力少なく、車いす、足の不自由な人が横断しやすくしてほしい。 ● 沿道、交差点立ち位置へ点字ブロックを設置してほしい。 ● ピクトグラム、外国語での案内表示をしてほしい。 ● 安全第一で。でも景観も大事ですね。 ● 駅と 248 号線をつなぐ道路として重要ですが、現状車用道路として計画されています。248 号線から駅までを歩行者天国にできる位の計画を持たせる整備があれば、使い方は大きく変わり、駅周辺に人が集まるのではないのでしょうか。
対応	➤ 道路の移動等円滑化に関するガイドラインに沿って、段差の解消、勾配の解消、凹凸の解消及び視覚障がい者用誘導ブロックの敷設を検討します。 ➤ その他整備を行う際の参考にさせていただきます。

心のバリアフリーについて

意見	● 相手を思いやる気持ちは廃れてないと思います。ただ言葉に出さない事ですれ違いが生じている気がします。障がい者はもっと外に出て市民との接点を増やす必要があります。高齢者も同じですが、若い方と同じ時間、同じ空間、同じ目的で集うことで相手を知る事ができ、思いやりも生まれて来ると思います。 ● コミュニケーション条例初年度、心のバリアフリーは益々社会、国に求められています。共生の理念の現実化、当たり前前の生活が共にできるように（市民の意識、協力の醸成） ● 心のバリアフリーについては非常に重要と考えます。具体的にどの様に心のバリアを取り除くのか？その方法について十分な検討が必要と考えます。 ● 私が関わっている方々は（主に知的障がい、精神障がいの方が多いです。）少しの手助けがあれば、地域で普通に暮らすことができます。社会に余裕があれば、こういった方々への関わりもしやすくなると思うので、余裕のある社会を作っていくことが必要なのではと思います。 ● 色々な方がいて、色々な状況があることをまずは知ることが重要です。関わるのが大事だと思います。 ● 耳が聞こえない方にとって、特に不安に感じているのは、駅構内に何かあったときに、駅員が不在になると、対面でコミュニケーションを図る事ができません。無人駅の場合、耳が聞こえなくても対応できる様な案内をお願いしたいです。例えば、駅員不在の場合、連絡方法はどの様にすればいいか、ポスターの様なものを提示するといった方法を採用してほしいです。 ● それぞれの障がいのある方や高齢者などがどのようなことに困り、どのような助けを必要としているのか、といったことが分かるような掲示をもっとするといいと思います。
対応	➤ 障がい者が、地域社会を形成するひとりの市民として日常生活や社会生活を送るためには、障がいの有無にかかわらず、地域社会の主体として活動できるような環境づくりを進めていく必要があると考えております。そのため、障がい者団体等とともに、障がいや障がい者に対する理解と配慮の促進に重点的に取り組みます。また、情報の取得や意思疎通、施設利用、移動手段等のバリアフリー化を推進するとともに、ユニバーサルデザインの普及・啓発に取り組みます。 岡崎市は今後も、誰もが共生することのできる地域社会の実現を目指します。 ➤ 名古屋鉄道では、終日駅員無配置駅及び時間帯駅員無配置駅に、電子筆談が可能なチャット機能が搭載されたモニター付インターホンを導入しており、岡崎市内では美合駅に既に導入されています。その他駅への導入時期は未定ですが、順次導入を進めていきます。

その他

意見	● 精神障がい者家族会としては、特にバリアについては問題ないと思いますが、高齢者、認知症の方への配慮を思います。バリアフリー法規の遵守、愛環の方との意見調整、視聴覚障がい者、ろう者の方へのバリア対策は言うまでもないことです。 ● 随分時間がかかるんだなという思いです。今現在困っている人がいること知ると当面どうするの？と心配です。 ● 素案全体について、まず、前提条件をわかりやすく明確にすべきと思いました。例えば、 ・どのような方々（年齢、障がいの種類・程度など）を対象とした取組なのか？ ・その方々が、どのような場面で困らないようにするのか？ ・バリアフリー以外に、どのような目的を持たせるのか？（景観、交通安全など） ・費用はどの程度かけられるのか？ 課題案件全て実施しても予算的に問題ない場合でも、なぜそこまでやるのか？という根拠を明確にすべきと考えます。その際には、バリアフリー法に照らし合わせ、現状案でどこまで法律をカバーできているのか？それで十分か？不足か？という判断を客観的に示すべきかと。資料内にはバリアフリー法を解説する内容はありますが、具体的に実施案件と対比した検証は、まだされていないように思いました。 ● 既に名鉄は改修済とのことですが、ホームからホームに直接行き来出来ることも考えていたらと思いました。一旦道路まで降りるのであれば、そこで足を止めて楽しめる所があれば良いと考えます。 ● 当事者団体と相談し、インクルーシブツアー（当事者＋市民＋α）のようなイベントを行ってみてはどうでしょうか。ネットで先進事例が写真入りでかなり出ているので参考にするといいと思います。 ● 市民を巻きこんで行うような楽しい企画があるといいのではと思います。（バリアフリー調査ツアー（東岡崎→岡崎公園→中岡崎→東岡崎という体験ツアー）、中岡崎駅近くのウォーキングツアー）こういったことを行い、さらに MICS も巻き込んで TV で流す、FM 岡崎と一緒に街頭インタビューをやって放送で流すなど、その際に障がいのある方も参加してみるとよいと思います。
対応	➤ 中岡崎駅・岡崎公園前周辺地区バリアフリー基本構想はユニバーサルデザインの考え方に基づき、高齢者、全ての障がい者及び妊産婦等、日常生活又は社会生活において身体の機能上の制限を受ける者をはじめ、全ての方を対象としています。バリアフリー法等に沿って、関係機関と調整を行い、早期にバリアフリー化を行えるよう努めてまいります。 ➤ 国のガイドラインでは各整備箇所に関して、整備にあたっての考え方を示した上で、義務となる移動等円滑化基準及び具体化にあたって考慮すべき整備の内容を「◎：移動等円滑化基準に基づく整備内容」、社会的な変化や利用者の要請に合わせた整備内容のうち標準的な整備内容で、積極的に整備することが求められる「○：標準的な整備内容」、さらに高い水準を求める「◇：望ましい整備内容」の3段階に分けて記載しています。実施する特定事業については、◎の内容を全て満たした整備を行います。○、◇の内容については、利用状況等を踏まえて検討します。なお、整備の詳細については、基本構想策定後に特定事業を実施する者が作成する特定事業計画に記載します。